

件 名	堺市学力会議からの提言について
経過・現状 政策課題	【堺市学力会議を設置するに至った背景】 ○「全国学力・学習状況調査」及び堺市独自の学力調査の実施に伴い、 ・全国との比較など、データに基づいた学力等の分析が可能となった。 ・全国との比較の中で、本市は全国平均を下回る結果となっている。 ○本市の学力向上に向けて、効果的な取組を立案、推進するため、外部専門家からの意見を聴取する。 【堺市学力会議】 ○目 的 堺市立小学校及び中学校の児童生徒の学力実態や学校教育の諸問題を踏まえ、児童生徒が社会を生きていく上で必要となる総合的な学力の向上に資するため、堺市学力会議を置く。 ○構成委員（敬称略） - 成山 治彦 大阪教育大学 理事 - 奥田 真弥 社団法人 関西経済連合会 専務理事 - 志水 宏吉 大阪大学大学院教授 - 田中 勇作 株式会社ベネッセコーポレーション 主任研究員 - 服部 祥子 精神科医・大阪人間科学大学名誉教授 ○会議内容 ・第 1 回 4 月 28 日「これからの社会を生きる児童生徒に必要な学力」他 ・第 2 回 6 月 23 日「学力を伸ばす学校のあり方について」他 ・第 3 回 8 月 18 日「小中一貫教育と地域協働型教育について」 他 【堺市学力会議からの提言の骨子】 提言 1：学習意欲をはぐくみ、確かな基礎知識、思考力・表現力を伸ばす。 提言 2：小中一貫教育を推進し、9 カ年安心して学べる堺独自の教育システムを確立する。 提言 3：学校・家庭・地域が協働する堺版コミュニティースクールをつくる。 提言 4：堺モデルのキャリア教育、環境教育、英語教育などを進める。 提言 5：「学力向上プラン」の実現に向け、学校のチーム力を発揮する。 提言 6：教師力の向上につながる堺の養成・採用・研修システムを構築する。 提言 7：I C Tを活用し「わかる授業」を実現する。

対 応 方 針 今 後 の 取 組 (案)	【対応方針】 「堺市学力会議」からの提言に基づき、本市の学力向上に向けた施策の再構築を図る。 【今後の取組】 ○ 「(仮称)堺市学力向上の指針」の取りまとめ(平成21年11月中) ○ 「指針」に基づく具体的取組の推進 ・ 21 年度中に着手する事業、22 年度に実施する事業など、当面の具体的取組の推進 ○ 堺市における教育振興のための次期基本計画への反映
効 果 の 想 定	
関 係 局 と の 政 策 連 携	